

	12月累計	4月～11月
組合員ふやし	38人	949人
出資金ふやし	247万円	8,940万円
純増	136万円	1,306万円

## 「生協くさつ24」案内訪問

11月16日、22日、28日の3日間、西区西支部の平山支部長にも同行いただき、草津浜町、草津本町の組合員さん宅を訪問し、「生協くさつ24」を案内してきました。診療所からは新垣、樋口、山田が参加しました。地域訪問を職員と組合員の協同で取り組むきっかけになったのは、①職員が配布している「けんこう」の配布先の組合員がどんな方かわからない。②職員と一緒に訪問すると話がしやすい、すんなりと会ってもらえるという理由から一緒に地域訪問に取り組むことになりました。

訪問してみると平山支部長の長年のキャリアで私たち職員をリードして話がすすみます。普段、診療所に受診されている患者さんも自宅での会話なのでざっくばらんにお話をしてくれます。生協くさつ24について案内すると「いいことですね、そのうちお世話になるかも」など好意的な感想が大半でした。なかには現在、親がくさつヘルパーステーションを利用しているが通常のステーションとどのように違うのか？と非常に興味を持たれた組合員の方もおられました。その反面、説明不足のためか、大半の方については、なかなかシステムについてご理解いただけるまでには至りませんでした。一人暮らしの親戚が玄関で倒れて以来、自宅での暮らしが困難な状態になっている。安心して生活ができる施設入所を検討しているがなかなか思うようにすすまないという深刻な内容のものもありました。



【古い町並みが残る草津地域】

草津浜町、本町とも古い町並みが残っており、被爆建物や歴史的な建造物もたくさんあります。しかし、路地が狭いので「火事や災害が起こったら…消防車や救急車は、通れるのか？」と思いながら歩きました。このような地区ですが徐々に古い建物が取り壊され更地になっていたり、新しい建物ができていたりしています。草津本町や浜町の患者や組合員は確実に高齢化しています。その一方で草津東町や庚午南地区は新しいマンションできて若い世代が暮らしています。草津地区事業所が将来どのような方向で進んでいくのか課題が投げかけられた地域訪問でした。

ちなみに、3日間で48件訪問、28人と対話、増資2件7,000円の成果がありました(^)/

【草津診療所 山田事務長 文】

